

トレンド

クールビズを機に、一気にカジュアル化が進んだ男性のビジネスファッション。一方で、ビジネスの様々なシーンで、真面目で誠実な印象を与えられると、スーツにネクタイといった定番ファッションが見直されている。ネクタイの売り上げが好調なほか、タック(折り目)の付いたパンツも人気だ。定番の紳士ファッションの復活に合わせ、機能的なアイテムも登場している。

「私はアンチクールビズです」。こう話すのは千葉県在住の団体職員、黒沢陽一さん(55)。紺のスーツに茶色のネクタイを合わせ、知的な雰囲気が出ている。12月初旬、松屋銀座(東京・中央)のネクタイ売り場を訪れた。

以前はノーネクタイで仕事をする人もあった黒沢さん。2〜3カ月前にある書籍を読み、服装が相手に与える印象の大きさに気づいた。ネクタイという定番ファッションに回帰した。「ビジネスとしての服を着れば仕事先にも良い印象を持ってもらえる。服装を変えたことで仕事も順調」と満足そうだった。

百貨店ではネクタイの売り上げが好調で、三越伊勢丹ホールディングス傘下の百貨店では今年、ネクタイの売り上げが前年比5%増で推移。松屋銀座でも10〜30%増で推移する。松屋銀座紳士部

スーツ・ネクタイに回帰

ビジネスシーン

バイヤーの木村麻里さんによると「商品によっては前年比2倍のものもある」という。

ノーネクタイが広まる中で、黒沢さんのようにあえてネクタイを締める人に対して、誠実な印象を抱く人も多く、ネクタイの良さが再認識されているようだ。

若い世代の間でもネクタイ人気は高まっている。松屋銀座でネクタイを選んでいく都内在住の会社員(26)は「正式な

場にはきちんとネクタイの目を気にする人が多く、これでもネクタイ人気は高まっている理由かも



USBメモリ付きのカフスボタン

機能的アイテムも登場



東京シャツは洋服ブラシ付きのネクタイを発売した(東京都港区の店舗)

相手に与える印象大きく

「腹回りをすっきり見せる効果もあり、日本でも30〜50代を中心に人気が高まっている」と話す。人気は若者にも広がっており、AOKIは若者向けの「オリヒカ」で16年春夏から取扱量を前年比3割増やす予定だ。定番の紳士ファッションの復活に合わせ、機能的な新商品も続々登場している。ハイブリッド合同会社(横浜市)が通販サイトで販売するのはUSBメモリ付きのカフスボタン(税別1万9200円)だ。キャップを外しそのままパソコンに挿して使用できる。他にもWi-Fi機能付きのカフス(税別2万5000円)や時計付きカフスなど、多くのアイデア商品を販売している。カジュアル化により付ける人が減ったカフスボタンだが、「アイデア商品で需要を喚起したい」と(同社)という。

東京シャツ(東京・千代田)は11月に洋服ブラシ付きのネクタイを発売した。先端部の裏地にポケットが付いており、付属のブラシを収納できる。裏地の素材にはマイクロファイバーを使用。スマートフォン画面や眼鏡をふくこともできる。復活しつつある定番ビジネス服。ただ、カジュアル化の流れの中で「できればネクタイは締めたくない」という声も根強い。ビジネス服の多様化は今後も進むそうだ。

タック(折り目)付きのパンツは上品な印象に



(木村祐太)

成人式に向け3ピーススーツを購入する学生が増えている(東京都新宿区のAOKI新宿西口本店)



百貨店でネクタイを吟味する黒沢さん(東京都中央区の松屋銀座)

3ピースやタックパンツ復活